

PHILIPS

Healthcare

超音波診断装置



第22回 Philips 超音波診断装置 Webセミナー 小児エコーを極める

1. 新生児超音波検査：ここまで見える、みてみよう



演者：野澤 久美子 先生

神奈川県立こども医療センター 放射線科

2. 新生児心エコー検査の現状と未来



演者：豊島 勝昭 先生

神奈川県立こども医療センター 新生児科

3. 質疑応答セッション

第22回 Philips超音波診断装置Webセミナー 小児エコーを極める

内容紹介



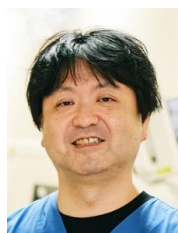
野澤 久美子 先生

神奈川県立子ども医療センター
放射線科

■新生児超音波検査：

ここまで見える、みてみよう

腹部超音波検査に高周波数帯域の探触子を用いることができる新生児は、超音波検査の利点か他の年齢層よりも大きい。ミリメートル単位の構造を詳細に観察することが可能で、形態評価や腫瘍性病変の診断における有用性が高い。また、腰仙部から脊柱管内を観察できることも新生児期超音波検査の大きな利点である。本セミナーでは新生児超音波検査の正常像や比較的頻度の高い疾患の症例呈示をしながら、着目ポイントや注意点について述べる予定である。



豊島 勝昭 先生

神奈川県立子ども医療センター
新生児科

■心エコー検査の現状と未来

日本の新生児集中治療室(NICU)では、新生児科医が日常的に心エコー検査を評価し、細やかに循環管理を行ってきた。スペックルトラッキング法は、エコー動画の小斑点を追跡して長軸方向の歪みの程度を反映するストレインを半自動で解析でき、様々な病態で予後予測に有用とされる。また、3次元(3D)心エコー法は心臓容積とその変化が半自動で算出できる。これらは短時間・簡便・半自動で検者間差異が少ないNICU医療に適した検査になることを期待している。

開催日時・お申込み方法

2022年3月23日（水） 19:00-20:00

■お申込み方法

こちらの[リンク](https://v2.nex-pro.com/campaign/39138/apply)か、または右のQRコードよりお申込みください。
<https://v2.nex-pro.com/campaign/39138/apply>



ご参加登録を頂きますと、当日ご参加いただけない場合にも、オンデマンド配信開始時にご案内が届きご視聴が可能になります。

製造販売業者

株式会社フィリップス・ジャパン

〒108-8507 東京都港区港南2-13-37フィリップスビル
お客様窓口 0120-556-494
03-3740-3213

受付時間 9:00～18:00
(土・日・祝祭日・年末年始を除く)

www.philips.co.jp/healthcare



販売名：超音波画像診断装置 EPIQ/Affiniti
医療機器認証番号：225ADBZX00148000
管理医療機器/特定保守管理医療機器

©2022 Philips Japan, Ltd.